

第22期登山学校 第6回「天気の見方」 講座報告

作成者；第3班 鹿喰正浩

【机上講座】

講座日；2017年11月4日（土） 09：30～16：00

場所；北浦和カルタスホール

講師；第一部 駒崎 弘安 講師 第二部 山口 雅彦 講師

概要；第一部 天気の基本と観天望気

- ・ 雲発生メカニズム（気温差による水蒸気量の関係）
- ・ 天気図の基本知識（読み方、構成要素、高低気圧の構成について）
- ・ 前線の種類とその特性
- ・ 4気団の天気への影響
- ・ 観天望気
- ・ 観天望気における雲の種類とその特徴

第二部 天気図の利用 そして雷と火山

- ・ 天気予報の種類、使い方
- ・ 天気図の種類と天気図を見るときのポイント
- ・ 高層天気図についての解説（特徴、大気の循環（気流）・ブロッキング低気圧、高層天気図）及び高層天気図を使った実習形式での解説
- ・ 落雷について（危険性と雷雲遭遇状況での対応）
- ・ 低体温症のリスクと予防について
- ・ 火山についての解説

【実技講座（3班）】

講座日；2017年11月5日（日） 9：00～15：30

場所；山梨県 倉岳山 天候；晴れ

講師；高野 久美 氏 若林 信彦 氏 小林 和文 氏

受講生；班長 佐野 和司 氏 副班長 谷内 麻季 氏 千葉 正幸 氏、滝澤 晴美 氏、
武笠 紀子 氏、記録 鹿喰 正浩

概要；山行を通じて前日に受講した天気の見方（特に雲の形状より雲の種類を判断し、天候の変化を予測する）についての練習を目的とする。小篠貯水池での観察では雲は認められなかったが、頂上及び下山途中の小篠貯水池では「積雲」を確認する事が出来、その発生メカニズムについて解説を頂いた。

活動記録； 0900/0916 J R 倉沢駅 集合／ストレッチ／班オープンミーティング
0950/0957 小篠貯水池 観天望気講座（雲の観察）／小休止
1035/1040 分岐 小休止
1110/1115 途中 小休止
1148/1153 穴路峠 小休止
1220/1255 倉澤山頂上 観天望気講座（雲の観察）／昼食
1410/1017 分岐 小休止
1450/1454 小篠貯水池 観天望気講座（雲の観察）／集合写真撮影
1530/1545 J R 倉沢駅 整理体操／班クロージングミーティング／解散

【感想】

机上講習開始直後に、即「事前にきちんと予習しておけば良かった」と非常に悔やんだ。あまり得意ではない分野なので講義に着いていくのに必死だったが、どの項目においてもその構造や発生のメカニズム等々を体系立てて解説して頂いたので、私でも何とか最後まで聴講できた。ただ全て理解できている自信はないので、忘れないうちに復習はしておこうと思う。

実技にて朝の観察では見られなかった雲が、昼時点では確認された。倉沢までの電車の中で、教材の雲の種類を勉強してきたつもりだったが、実物の雲の種類が全然出来なかった。駒崎講師・山口講師に「積雲」と教えて頂き、ようやく理解できた。また朝雲が無かったのに昼に発生しているのは、温められ上昇した空気が、今度は上昇と共に冷やされた為と解説され、なるほどと思った。今まで雲の発生について考えたことが無かったので、なるほどと思った。

今回は、殆ど全く知らない事についての講義で、着いていくだけで必死だったが、全てが新鮮で面白かったです。私自身の努力がもう少し必要かと思いますが、折角なので、もう少し勉強してみようと思います。

今回の机上講習及び実技講習に携わってくださった運営委員会の皆様どうも有り難うございます。今後とも何卒よろしくお願い致します。

以上

第22期 第6回講座 【天気の味方】活動報告 2班記録 上田 健一記

【実技講習】10月5日（日）

実技内容；「観天望気」空を見上げて曇、風、気温の変化について学ぶ

	出発～到着時刻	標高	特徴
①	鳥沢駅集合 9:00	270m	無人駅 トイレ 酒屋 スイカ 自販機あり
②	出発 9:15		コンパスを振り 3班に分かれて出発
	(途中天気講習) 山の中腹がモヤ確認、霞んでいる時は好天が続く		
③	小篠貯水池 休憩 9:50	298m	広場 雲なし
④	穴路峠 10:30		風あり 少し寒かった
⑤	倉岳山山頂 12:13	990m	お昼休憩 人が多い
⑥	出発 12:45		
⑦	小篠貯水池 14:33		休憩、写真撮影 班ごとの反省
	(天気講習) 西側の山に積雲確認できました。		
⑧	鳥沢駅 16:00		解散

【感想】

4日、5日と天気の勉強をしましたが、難しいと思いました。

今までは登山の前に天気予報見る程度でした。天気図なんて見たこともないし観天望気は聞いたこともありませんでした。 今後は少しでも危険回避できるように雲や天気に興味を持って勉強したいと思います。 運営委員の皆様お世話になりました。